



MAR 24th

17号

電子機械科 NEWS

Systems Engineering Mechanical & Electrical

ともかく
生かされてはいる
雑草の中
山頭火

益田翔陽高等学校

日常のありがたさを胸に そしてなんとなく感謝

■センバツ高校野球に翔陽高校が初出場して3年が過ぎる。その年の行進曲は東日本復興応援歌「花が咲く」。選手たちが中本キャプテンを先頭に憧れの甲子園を元気よく踏みしめていたことを思い出す。

■さて、今年の大会宣誓は香川県立小豆島高校の樋本君。以下全文

●いまから92年前、第1回全国選抜中等学校野球大会が開催されました。その翌年に創部された僕の野球部は来年の春、高校の統合にともない新しく生まれ変わります。当たり前にあった景色がなくなる。その重みを僕たちは忘れてたくありません。当たり前にある日常のありがたさを胸に僕たちはグラウンドに立ちます。

そして支えてくださる方々を笑顔にできるよう気迫を前面に出し、全身全霊でプレーすることを誓います。

■私たちはこの「日常のありがたさ」を時々感じることもある。種田山頭火も彼の最期の日記に「なんとなく感謝、慎みの心が湧く、感謝・感謝。感謝は誠であり信である。誠であり信であるが故に力強い。力強いが故に忍苦の精進ができるのである・・・」と書いている。

■私も時々なんとなく感謝している。元気であることへの感謝、食べられることへの感謝、仕事・勉強できることへの感謝、父母への感謝、子供への感謝、姉兄への感謝、友人への感謝、生かされていることへの感謝。59歳で亡くなった山頭火より年を上回るが・・・忍苦の精進ができるかどうかはまだわからない・・・

■さて、今年の樋本くんの宣誓は、もう一つ自校の統合を述べていた。10年前の県工・産高の統合、そしてそれぞれの閉校と重なるものがあり、思うものがある。両校の多くの景色がなくなり、変わっていった。来年度はそれから10年。統合後入学したみなさんに、いろんな重みを感じなさいは無理かも知れない。が、多くの部活動が行われ活躍できるのも、多くの会社から求人があるのも先輩たちの活躍のお蔭であるということは忘れず、なんとなくでいいから時々感謝してほしい。



毎日新聞ホームページより

機械保全技能検定2級：合格

●3月11日（金）、機械保全技能検定2級の発表があり、2年生の 尾木謙太くん 中村巧くん 藤村玲音くん の3人が合格した。

受験した生徒は4人。昨年12月の期末後から勉強し受験にあたった。

S科NEWSは今号でしばらく休みです。
ありがとうございました